

## 新春インタビュー 2022 ミス日本「海の日」属安紀奈さん①

- ❁ 新しい年を迎えましたが、属さんは、いつもお正月をどのように過ごしていますか。
- ❁ お正月は、家族と一緒におせちや山口名物のふく刺しをいただいて過ごしています。大学は東京でしたが、地元山口に帰省して、お正月は家族と一緒に過ごしていました。我が家では、母の定番料理の玉子に肉を巻いて甘辛く味付けをした、私も大好きな料理をおせちに入れます。私は玉子に肉を巻く作業を手伝っています。  
2022年のお正月は手作りおせちこそありませんでしたが、いつも通りのお正月風景でした。いつも通り新年のあいさつをして、家族みんなが健康で過ごせますようにとお祈りしました。コンテストの直前で緊張もありましたが、いつも通りだったので落ち着けて良かったかもしれません。今年は、家族で地元の笠戸島の温泉に行きます。海が近い温泉なので、家族で海を眺めながらゆっくりします。
- ❁ 属家ならではの正月行事はありますか。
- ❁ 恒例行事というわけではありませんが、新年の抱負を家族の前で言っています。甥っ子に、今年はどうな一年にしたいか私が尋ねるのですが、子どもに聞くからには大人たちも言わなければということで、私も一年の抱負を言います。私は、去年は「コンテスト頑張ります」と言いました。
- ❁ 有言実行ですね。今年はどうな一年にしたいですか。
- ❁ 今年は、ミス日本「海の日」としてこの1年で得た知識や経験を新たなフィールドで生かしていける人になりたいです。その願いが強いです。
- ❁ ミス日本「海の日」として活動してきた中で、「海」に対する考えが変わったとか、印象的な出来事はありましたか。
- ❁ 以前は、「海」というと遊びやレジャーのイメージが強かったです。海に親しんだり、海を知るには、遊びやレジャーが効果的ということもありますが、ミス日本「海の日」として活動させていただき、海洋や海事産業にかかわる方々からお話を伺ったりして、私たちの衣・食・住を支え、生活を支える「海」を知りました。  
ミス日本「海の日」の活動で神戸に行ったときに、朝早くからたくさんの運搬船が行き来しているのを見て、改めて、毎日たくさんの船がいろいろなものを運んで、私たちの生活を支えてくれているのだと感じました。その船を動かしている船員さんたちには、本当に感謝しています。

「海員だより」

0-0-0-0-0-0-0 プロフィール ❖ 属安紀奈 (さっかあきな) 0-0-0-0-0-0-0

山口県周南市出身。モデル。「多様性の重要性を発信したい」「地元に関わりたい」と思い、ミス日本コンテストに応募。2020ミス日本コンテストではファイナリストとなるも受賞を逃し、今回、2度目の挑戦でミス日本「海の日」に輝いた。趣味はピラティスや自宅トレーニング。座右の銘は『みんなちがって、みんないい』。